

最初のページ左段下に著者の所属と職位を記入。
明朝（半角英数は Century）、9pt

2. 調査対象

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

キャプション、図上に
来る
1行空

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

これは見本です。これは見本です。（表1）

表 1 表見本

	教材1	教材2
面白くても何でも ：読み返したい と見出しをつけ（明朝 変数は Century）、10 上の位置に記す。表は 隅に配置し、文章を分 ようにする。横幅は1 は、2段全幅の2種類 はない。	3.96	2.62
重い。	4.36	3.23
価格が高すぎる。	3.39	4.14
索引がどこに配置 されているのか分 かりにくい。	3.42	3.84
誤字脱字が多すぎ る。	3.65	4.05
	4.38	2.63
	4.13	3.13

表の挿入：
通し番号と見出しをつけ（明朝
（半角英数は Century）、10
pt）、表の上の位置に記す。表は
紙面の四隅に配置し、文章を分
断しないようにする。横幅は1
段幅、又は、2段全幅の2種類
とする。

```

graph LR
    A["ナントカ  
カントカ"] --> B(( ))
    B --> C((💡))
    C --> D{ }
    D --> E[云々]
    style B width:0px,height:0px
    style D fill:none,stroke:none
  
```

図1 図見本

図(写真含)の挿入：原稿の書式
通し番号と説明キャプション（明朝、10 pt）を、
図の下に位置にセンタリングして記す。
図は紙面の四隅に配置し、文章を分断しないよう
に。
横幅は1段幅か2段全幅の2種類。
印刷時の干渉縞を避けるために、網掛け、グレーは
用いず、区別が必要な場合は線種やハッチングな
どを用いる。
著者の提出した原稿をそのまま印刷するため、図・
写真の質に注意する。写真はデジタルカメラで撮
ったもの、またはスキャナーで取り込んだ画像を
原稿に組み入れて提出する。それ以外の写真を使
用したい場合は編集委員会に相談

キャプション上、又は、表下に文が必要です。これにしたがって、原稿の書式を設定
章が来る場合 1 行空ける。 **見「注」**が必要な場合、本文中の関連箇所

「注」が必要な場合、本文中の関連箇所の上肩（フォント「上付き」を指定する）に「注1、注2、…」と記し、論文末で解説する。脚注にはしない。

3. 結果と考察

これは見本^{注1}です。これは見本です。これは見本です。これ^{注2}は見本です。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、参考文献・引用文献は、本文中の右肩（フォント「上付き」）に番号を記し、右肩を参照してください。これは見本です。

これは、見本です。これに1つの関連箇所には複数の参考文献番号がある場合は、たとえば「3-6」とする。2つの場合は「3,4」のように書く
がって、原稿の書式を設定してください。これは見本
です。これは見本です。これは見本です。 1)

これは見本^{1,2)}です。これは見本です。これは見本¹⁻³⁾です。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これに

